



## 技術シーズ; カニクイザル心筋症(心不全)モデル



生化学・分子生物学講座 分子病態生化学部門  
教授 扇田 久和

### 「がん治療薬の副作用(心不全)に対する治療開発」

#### ■ 技術シーズの概要

ドキシソルビンなどの抗腫瘍薬はがんに対する治療に重要ですが、投与量が多くなると副作用として心臓の働きが抑制され、心不全になることが知られています。

しかし、そのメカニズムについてはほとんど分かっていません。そこで私たちはカニクイザルを用いて、ドキシソルビンによる心筋症(心不全)モデルを初めて作製し(特許申請中: 特願2019-125286)、解析を行っています。

今後、この心筋症(心不全)モデルをを活用して病態の解明と共に、新たな治療法・治療薬の開発を進めていきたいと考えています。

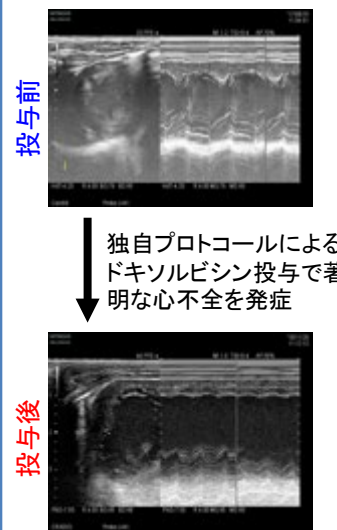
#### ■ 計測・評価例

- ・ 共同研究として心筋症を抑制する候補化合物の薬効・安全性や作用機序を調べることも可能

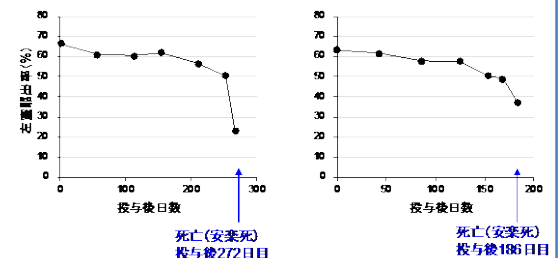
#### ■ 研究者からの一言

- ・ 非ヒト霊長類を用いた心筋症モデルの作製とその解析などに関する知識と経験を有しています。

#### <心エコーでの観察例>



#### <薬剤投与後の心機能低下の推移>



#### <心不全死後の心臓剖検写真>



心不全による顕著な左室拡大を認める

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp